

湯夢湯夢の里に 露天ぶろオープン

ふるさと創生大滝温泉蘇生事業として、市が二年度から建設を進めている「湯夢湯夢の里」。三年度には九月に休憩室、三月に露天ぶろが完成し利用されています。また、温水プール新設工事も順調に進んでいます。三年度には第二期工事（建物工事）が完工、今年度は第三期工事（屋内のプール建設工事）を予定しています。

露天ぶろは

庭園風の造り

四月二十五日にオープンした露天ぶろは、九平方メートルの広さの浴槽が男女それぞれに設けられ、浴場から渡り廊下で行ける



庭園を見ながらのんびりとできます

ようになっています。全体が自然石をふんだんに使用した庭園風の造りになっていて、積み重ねられた石を滝が流れ、その両側には石灯ろうが置かれているほか、サツキやツツジ、松、ナカマドなどが植栽されています。また、ぶろには秋田杉を使用した屋根がかけられ、夜は数カ所からライトアップされます。昨年の十月一日にオープンした休憩室は、浴場建物から少し離れた東側に建てられ、浴場建物とは渡り廊下で結ばれています。木造の高床式で造られていて、畳敷きの二十四畳の広さになっています。

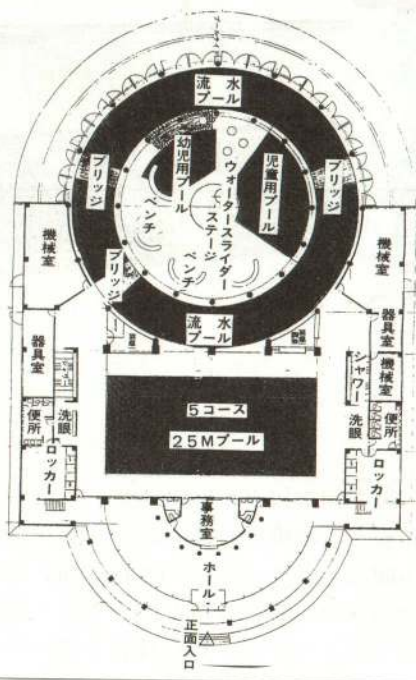
露天ぶろは、浴場と同様に午前六時から午後十時まで、休憩室は、午前九時から午後十時まで利用できます。

今年度は 温水プール第三期工事

湯夢湯夢の里は、総事業費約二十億五千万円で、市が二年度から建設を進めています。これまでに、ふるさと広場、カリヨン（音の鳴る木）、浴場、露天ぶろ、休憩室などが完成。温水プール建設は、第二期工事（建物工事）まで完工しています。温水プールの建物は、鉄筋

コンクリート造り一部二階建て、延床面積が約二千六百二十平方メートル。屋根には、自然採光できるようにテフロン製のドーム型シエルターと網入れガラス製の三角窓が設けられています。今年度は、温水プール新設第三期工事（屋内のプール建設など）と駐車場整備工事に七月ごろ着手し、年度内に完工する予定です。

温水プール平面図



完成した休憩室

長 市リポート



No.22

木都大館の復活を

市の発展を支えてきた産業の一つに、秋田杉を利用した木材産業があります。しかし、木材産業は、時代の変化とともにユ一ザーから求められる製品の供給態勢の遅れや、木材の需要の多くが外材に依存している現状から沈滞しています。

木材産業を盛り返していくには、秋田杉の製品をどんな使ってもらおうかを考えていかなければなりません。

そのためには、まず乾燥がよい、仕上げがよいなどの製品にしていくことが必要です。柱などの構造材の場合は、乾燥が悪いために後でゆがみなどが生じては困ります。また、製品を使用する業界と話し合いをしながら、業界が求める寸法などの製品を出荷できるようにしていくことが必要です。そうすれば、販路を拡張できますし、他との競争に勝てると思います。

市でも、できるだけお手伝いをしながら、木都大館の復活を図っていきたいと考えています。

小畑 元